

令和 5 年 1 2 月 1 2 日

豊田市長 太田 稔彦 様

梅坪台地域会議
会長 鈴木 重久

答 申 書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問を受けたことについて、下記のとおり答申します。

記

めざす姿

核家族化が進み、若い世代と高齢者世代のつながりが希薄化していた中で、コロナによって人とのつながりの希薄化がさらに深刻化した。そのような状況下において、「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」を「めざす姿」のスローガンとして設定することは、**妥当**と考える。

しかしながら、今までも同じスローガンを設定していたものの、あまり市民に浸透していない印象があったため、今回の計画では、**具体的でわかりやすい、わくわくさせるようなニュアンスを含めたスローガンにしてほしい**と考える。

また、「つながり」とあるが、「既につながりはある」という前提で施策を進めていくのではなく、「**新たなつながり**」を作る姿勢を盛り込んでほしい。

まちづくりの基本的な考え方

豊田市を取り巻く環境が激しく変化する中で、「見方」・「思考」・「行動」を「変える」という視点で取り組みを進めていくことは、**妥当**と考える。

また、まちづくりについて住民レベルで考える際、行政は財政面や知識・技術面において支援するなど、「支える」という姿勢を持って対応してほしい。

都市構造

豊田市は広く、同じ市内でも「同じ市民だ」という感覚を持ちにくい傾向がある中で、鉄道などのポテンシャルを生かしながら市内各地域と連携することは**妥当**と考える。

しかしながら、「コンパクト+ネットワーク」の考え方について、**目新しさが感じられない**。「ネットワーク」をオンラインで対応できるようにするなど、**目新しさを盛り込んでほしい**。

また、「都市構造の実現に向けた方針」の中に「開発」の項目を追加し、さらなる開発を進めることで豊田市を魅力ある街にし、若い世代の転入を促進させてほしい。

ミライ実現戦略 2030 の方向性

少子化が進む中で、「こども」を横断的な目標の項目と設定することは妥当と考えるが、「こども」と関係の深い「健康・福祉」の項目がないため、追加してほしい。

その他の意見

「VUCA」や「ウェルビーイング」など、アルファベットやカタカナを多用している。こどもから高齢者まで分かりやすい言葉で表現してほしい。